



第3号 ご挨拶

中国政府は、長期的成長と医療サービス提供のイノベーションを後押しする多数の構想を発表していますが、その政策環境は絶えず流動化しているので、継続的な監視が必要です。それでも、将来の規制（「第13次5か年計画」、「健康中国2030」、「中国製造2025」）は、引き続き現地でイノベーションを優遇し、それによって競争環境を根本的に変化させると私たちは予想しています。

たとえば中国市場が急速に「フルーガルメーカー」（俊約指向の製造拠点）から「イノベーションの発信地」へと変貌するのに伴って、多くの企業がこの高成長の医療機器市場のシェアを競い始めています。したがって、明確な競争上の優位性を保持し、データインテリジェンスへのアクセスでも有利な現地のテクノロジー企業を向こうに回して、多国籍企業はどのように戦うべきかを検討する必要があります。複雑な問題は別として、医療機器メーカーにとっては中国の成長可能性はもはや無視することができないものになっており、現地企業への投資や提携を実行し続けることで、この巨大な市場に食い込んでいく必要があります。

また、自動運転が試行錯誤を繰り返しながらも着実に現実性を帯びてくる中でそれに関連した自動車保険事業も近い将来の変化を余儀なくされています。

いずれも変化を志向しないと、2030年にはもう居場所を失っているかもしれません。

KPMG 中国 GJP 中国総代表 高部 一郎

1. 医療機器産業の展望 2030 - パワープレイによってコモディティ化の罠を回避する

以下の3つの戦略に従って、2030年の成功に向けて進むべき道筋について検討します。

リ・イベント: 医療機器メーカーは、未来に適応するために、自社の現行組織を詳細に点検し、従来のビジネスモデルとオペレーティングモデルを見直し、変革するリ・イベントを実施すべきです。

リ・ポジション: 外側から内側を見る「アウトサイドイン」の視点を検討して、将来に備えることも重要です。2030年には、外部環境がダイナミックに変化すると予想されます。医療機器メーカーは新たに想定される競争環境の中で自社のポジショニングを見直し、激動の力に対処できるようにする必要があります。

リ・コンフィギュア: 医療機器産業の幹部は従来の考え方を問い直し、2030年に自社が果たす役割を再建築する必要があります。それに応じて、現行の組織のあり方を見直しリ・コンフィギュアを実施することで、バリューチェーンの単なる参加者であることから脱却し、持続可能な医療費を実現するソリューションプロバイダーへと変貌を遂げる必要があります。

- > [全文はこちら](#) (日本語)
- > [全文はこちら](#) (英語)

2. 混沌たる移行期 - 自動運転車と自動車保険の破壊的变化

破壊的变化の3要素—技術、競争、新しいモビリティ—が合わさると、自動車のエコシステム全体の変革を促し、自動車セクターに特に深刻な影響をもたらす可能性があります。私たちは、自動車保険市場のほぼあらゆる面が流動化するとみています。今後の潜在的変化が持つ意味について考えてみます。

- 技術によって自動車はより安全になり、急激に事故が減少するとともに損害額も減少する。
- 都市部の消費者は、移動ニーズの大部分をオンデマンドとカーシェアリングのプラットフォームによって満たすようになる。
- 街を走る自動車は自家用車からモビリティフリートへと移行する。
- 自動車から発生するデータは、多様かつ詳細化されるとともに、リアルタイムになる可能性もあり、保険会社の引受業務、商品開発、保険金請求処理などの基幹業務は変化を余儀なくされる。
- リスクはドライバーからメーカーやサプライヤーに移転する（「ドライバー」対「ドライビング」リスク）、等

KPMG は、保険会社がこれらの変化への対応を吸収するまでの今後 10~15 年に「混沌たる移行期」があるとみています。古いビジネスモデルや戦略が次第に時代遅れになり、保険会社は新しい事業の進め方を見つけることが必要になります。これは段階的な変化ではなく、むしろ企業のコアミッションを根本から再考することになります。

- > [全文はこちら](#) (日本語)
- > [全文はこちら](#) (英語)

Contact us お問い合わせ先

GJP China Markets: gjpmarkets.china@kpmg.com

Tel: [+86 \(21\) 2212 2247](tel:+862122122247) (日本語)